

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

2015年2月号《No.8》

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

今月の聖句

あなたがたは、それぞれ賜物をいただいているのだから、神のさまざまな恵みの
良き管理人として、それをお互いのために役立てるべきである。

ペテロ第一の手紙4章10節

主題

国際会長	Wichian Boonmpajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K.W.Ong	「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前進」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとうろ
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。

2月の出席率 93% 在籍者14名 出席者13名 ネット1名 ゲスト 8名 ニコニコ¥8321

どきどきにかこまれて

麻生 由美子

暦の上ではすでに立春、春というなのにまだ寒い日が続きインフルエンザも流行している様子です。その前日の節分の日に私達3名ワイズに入会させていただきました。美味しいめでたい鯛焼きで祝福していただきました。この新しい出逢いに感謝して、いつも笑顔の素敵なお友達の皆様と、何事にも関心を持ち、共に歩みながら。今出来る事、何か楽しい事をどんどん探して、行動していきたいと考えております！ご指導のほど宜しくお願い致します

す。

今この時代お金があれば楽しい遊びを買うことが出来たり、短時間で遠くまで行くことが出来ます。本来便利や快適である事は、暮らしを楽にしてくれるはずなのに、昨日新しかった事が今日はもう古いとされ、誰かが走れば皆遅れないように走る時代！何処へ向かって走るのでしょうか？そんな中にいると私達は心が追いつかなくなります。感じる心が削られてしまう気がします！今ほんの少し遠回りして立ち止まり、大自然の中で深呼吸して見回してみると、今まで見えなかった大切な心が見えてくるようなそんな気がします。言葉やうわべだけでなく、本当に人の痛みを感じられる人になりたいと思えるのです。身近な素敵な仲間達と共に笑い、共に涙して、心の触れ合いを大切に歩いていきたいと思えます！

2016年2月入会式例会の様子

日時 2月2日19時 会場 西東京センター

司会 宮内ワイズ 聖書・祈祷 山口ワイズ 式辞 清水ワイズ 受付 石丸・山本ワイズ
立会い EMC主査 並木ワイズ (八王子クラブ) 服部 会長 (たんぽぽYサービスクラブ)
長谷川会長 (八王子クラブ)

ゲスト 山田 公平ワイズ (元多摩クラブ・マリーンメネット・悠人コメット) 久保田ワイズ
藤田真理子さん・小林文彦さん (テンダーメンバー) 林雅彦さん (渡邊ワクイズの友人)

クラブ新入会メンバー 板村 哲也さん 大輪 匡史さん 麻生由美子さん

天・地・人 時と場所と人の繋がりの内一つでも欠けるとどんなに努力してもうまく行かない。
今回は三つがびたりと揃った入会式だった。

卓話 台風の創りかた、この指止まれ！ 大輪 ワイズとテンダーグループ (麻生ワイズ・小林文彦氏)

宮内会長も言っていたように今我々が抱えている問題取り組みに、沢山のヒントを投げかけられた。

「私たちのルーツは神田にあったYMCAの少年部です。私たち高校生は土曜日の午後集まり語り合い
キャンプ場で汗を流すオールラウンドの青春でした。60年安保や大学紛争が激しかった時代です。
グループ名のテンダーの意味は腱、アキレス腱 (Achilles' tendon) の腱です。人と人の繋がりに一番大切
なところ。思いやり、気使い、相手を認める、を最も大切にしようこの指止まれで賛同し、大学紛争ち
ゅうの大学生リーダー達とは距離を保った集まりでした。

養護学校でボランティアをしたり観音崎や山中湖、野尻湖のキャンプ場で一晩寝ずに語り合いました。

それ以来テンダーは60歳になる現在まで続いています。

少年部で鍛えられた教えの行動。行動が無ければ教えは形だけです。ここにいる麻生ワイズは大学で福祉
を学びその道に進みました。そして実子二人養子一人里子二人を育て上げ、現在介護福祉士・介護支援専
門員・認知症ケア専門士として毎日飛び回っています。

話を戻して高校を卒業しキャンプ場の駐在さんをやり、キャンパーを受け入れ側の立場でそこには社会
人との接点もありました。

もう一つ運よく母親が山小屋を提供してくれそこに皆で手作りし風呂はありませんが集う場が出来あがり
メンバーに家族も加わり気持ちの輪が広がりました。

もう一つ心に残るのは野尻湖キャンプ場で40名のテンダーキャンプを行い人間関係つながり、思いや
り、気使いを感じあえたこと、そのとき二人の他界者がありましたが、きっとこの場にともにいたと思
います。

現在活動の一つの例として川崎の養護学校が作業場を数箇所持っています、作業場所は殺風景でややも
すれば人間関係が気うすになりがちですが人の輪を強めようとレクリエーションサポートをしています。

今年山中湖キャンプやうちの榛名山の別荘で共同生活を楽しみました。

チャンスに花を咲かせた話。新聞に日本財団がボランティアグループの力になりますご応募くださいという記事が出ました、早速応募、審査の結果、助成金を受け赤と緑のカナディアンカヌー2艘購入、20年間に渡って大自然と水プロから美しさ、厳しさ、優しさを、感性豊かな子供たちは障害をもった子供たちといっしょに学んでいます。そのことが千葉のFMで放送されましたその内容を麻生ワイズから・・・」

「グループテンドーは自分たちの学生時代からYMCAなどの野外活動を通して人の輪の大切さ素晴らしさを学んで来ました。心を病む人も、傷害をもっている方も、親の愛に恵まれない子供たちも、健常者も、大自然の厳しさ優しさを学ぶ野外活動を通して共通のときを持ち、共に歩むことをモットーに心のふれあいを大切にしたいと行動しております。

日本の四季を心から楽しみ、一年を通して春はお花見や遠足、夏にはキャンプ・カヌー、秋にはバザーやハイキングそして冬はスキー・クリスマス会などと盛りだくさんのプログラムです。素晴らしい可能性を秘めた子供たちや素晴らしい感性を備えた生涯をもつ仲間たちと共有の素晴らしいときを持ち共に未来へと進みたいと考えて居ります。

私たちのグループテンドーは小さな小さなグループですが愛と情熱だけは誰にも負けず現在も継続中のグループですよろしくお願ひいたします」

「そして今思うこと、高校時代YMCAにおいて素敵な仲間に出会えた事を感謝し又この機会を与えてくださったワイズの新しい仲間の皆様に心からの感謝です。」

「今この時代お金があれば楽しい遊びを買うことが出来、短時間で遠くまで行けます、本来暮らしを楽しむはずなのに昨日新しかったことが今日はもう古いとされ、誰かが走れば皆んな遅れないように走る時代、何処へ向かって走るのでしょうか、そんな中にいると心が追いつかなくなります。感じるところが削られてしまいます。今ほんの少し遠回りして立ち止まり大自然の中で深呼吸して、見まわすと今まで見えなかった大切な心が見えてくる気がします。

言葉やうわべだけではなく本当に人の痛みを感じられる人になりたいと思います。人の輪を大切にするには人との出会いの中でお互いの違いを認め人の痛みを思いやる心かほぐくみ、人の本質を理解できて来るように思えます。

身近な仲間たちと共に笑い共に涙してゆく中にこそ人生の深い味わいと祈りがあるのではないかと思います。今グループテンドーはさらに人の輪を大切にし、今出来ることを日々感謝しながら大切に継続してゆきたいと思います。新しい仲間をよろしくお願ひいたします。」

そして小林文彦（テンドーメンバー）のビデオプロジェクターで活動状況をテンドースタイルそのものの活動紹介があった。

質疑応答で大輪ワイズの我々も残された時間が少なくなり、一方嘗てのパワーマンがリタイアし方向性を失った姿をよく見かけます。この指とまれで賛同者を募り力を合わせ、もう一度新しい運動にしたいと思います。

次世代に残せるものは何か、活動の意義、活動の姿です。

その根源はYMCAで育てられたものですがなぜそこから離れたか、何が大切かということ組織の中でYMCAやクリスチャンという意識の中で仕込まれてゆくことに強い反発を感じたからです。

キリスト教の愛の中に何があるのか、その言葉の中に何があるのかをちゃんと自分で考え大切にしたいとYMCAから離れました、ですから我々には指導者がいません。

この言葉を聞いたとき自分で義とすることをする一匹狼を任じる私は自分と同じ匂いを感じ背中筋肉がほぐれ手行くのを感じた。

最後になってしまったが 板村 哲也ワイズは(1)リタイヤシ70歳、まだ自分には余力がある。(2)

クラブの雰囲気最高。(3)リーダー達の顔がいい！その若者たちを大事にしたい。と入会宣言があった。追伸 この例会に出席途上、公衆トイレに入って躊躇した、一人の男が一心に便器を磨いている。「いいよ！」の声。「お疲れ様！」と声をかけたら即「ありがとうございます！」の返事。よく見るとリタイア直後まだ袴を脱ぎきれていない男だった。夫々の分岐点の捕らえ方を考えながら会に出席。ヒント山盛りの例会だった。

<西東京 YMCA 便り>

村山 達哉

新年があけたかと思ったら、あっという間に2月ですね。ここ最近になって、ようやく冬らしい寒さも続いておりますが、体調など崩されませんようどうぞご自愛ください。

さて西東京センターでは、年末に実施しましたウィンタープログラムも、みなさまのお支えもあり、無事に終えること出来ました。感謝いたします。そして、すでに春のプログラムに向けての準備も始まりました。ボランティアリーダー・スタッフが丸となり、また新たなチームでプログラムを作り上げていきます。プログラムを支える多くのボランティアリーダーをぜひ応援下さいますようお願いいたします。

また例年2、3月には、障がいをお持ちの方々を対象としたスキーキャンプも実施しております。夏にも同じ対象の方々と山中湖センターにて3泊4日のキャンプを行っていますが、マンツーマンでの行動が基本となります。もちろん、スキー指導でも基本的にはマンツーマンで、特別なサポートによる指導が必要となります。そのため、キャンプに参加するリーダーたちは、障がい児・者を想定したトレーニングや、様々なケースをミーティングの中で議論し合い、学びながら準備をしていきます。たくさんの参加者とともに、安全にスキーや雪上での体験を楽しむことができるよう、残りの期間実施に向けて力を合わせてまいります。今月もお支え、よろしくお願いいたします。

<西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

- 2/2 スプリングプログラム申込受付（会員のみ優先受付）
- 2/4 スプリングプログラム申込受付（一般受付）
- 2/5-7 障がい児・者及び健常児対象スキーキャンプ「チャレンジスキーキャンプ」
- 2/11 ASCA クラス講演会 講師：小貫 悟 氏 @東京 YMCA 医療福祉専門学校
- 2/14 ASCA クラス 20 周年記念講演会 @東京 YMCA 山手コミュニティーセンター
- 2/20-21 発達障がい児 グループ活動「Smile」2月例会(妙高1泊会)
- 2/28 小学生野外活動「ロビンソン」2月例会
 幼児野外活動「にこにこ」2月例会
 知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いづみの会」2月例会

13日に行われたあずさ部評議会(松本)でCS助成金対象になり、2万円を補助金で受け取りました。また、当日は西のリーダー中心の子供遊びコーナーと、バザーを行いたいと思います。またバザー献品をよろしくお願いいたします。ご準備ください。3月の第二例会で集めることになると思います。(山口)

3月のハッピーバースデー 麻生ワイズ(3・26) 山口ワイズ(3・28) 山本メネット(3・5)

3月例会(3・9・19) 司会 野尻ワイズ 聖書・祈祷 小坂メネット 受付 清水・山口ワイズ

卓話 小山 久恵ワイズ(サンライズクラブ) 「BF代表オーストラリアの旅」です、次の代表は自分の気持ちで聞きたいですね。